



2024年7月31日

各 位

会 社 名 株式会社キャリアデザインセンター
代 表 者 名 代表取締役社長兼会長 多田 弘實
(コード番号: 2410 東証プライム)
問 合 せ 先 専務取締役 経営企画担当 西山 裕
(TEL: 03-3560-1601)

通期業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2023年11月8日に公表しました2024年9月期通期の業績予想を下記のとおり下方修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 2024年9月期通期 業績予想の修正 (2023年10月1日～2024年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	18,370	1,764	1,750	1,203	217.28
今回発表予想 (B)	17,780	1,429	1,430	989	177.66
増減額 (B-A)	△590	△335	△320	△214	△39.62
増減率 (%)	△3.2	△19.0	△18.3	△17.8	△18.2
(ご参考) 前期実績 (2023年9月期)	17,388	1,585	1,577	1,163	209.94

2. 修正の理由

この度は、2024年9月期通期の業績予想を下方修正することとなり、株主・投資家をはじめとする関係者の皆様にはご迷惑とご心配をお掛けしておりますことを心よりお詫び申し上げます。

当事業年度における求人環境につきましては、前事業年度のコロナ禍からの回復局面において採用需要が急速に高まった求人企業の採用が充足され、採用需要に一服感が見られる中、有効求人倍率は減少傾向が続くなど、期初の想定を上回る求人環境の変化が生じました。

このような状況の中、当社では、特に人材紹介事業の業績の悪化が顕著であり、当事業年度における人材紹介事業の業績は、売上高・経常利益ともに期初の業績予想を大幅に下回る見込みであります。主な要因としましては、採用単価が他事業に比べて高く、採用を継続している求人企業の採用基準が一層厳しくなり、採用内定率が低下した外的要因に加え、登録者獲得を強化し、転職者との面談数を増加させたものの、新規顧客の開拓が遅れた営業体制や、結果として転職者と求人案件のマッチング率が低下した内的要因によるものであります。

一方、メディア情報事業の業績は、引き続き取引単価の上昇を進め、コスト面においては広告宣伝費を抑制することで売上高・経常利益ともに増加する見込みであり、このような求人環境下においても順調に成長を実現できると見込んでおります。IT派遣事業については、新規顧客の開拓や派遣スタッフに対する求人案件の提案数を増加させたことで派遣スタッフの稼働人数は増加に転じ、第4四半期には売上高・経常利益ともに前年同期を上回る見込みであります。また、新卒事業も堅調に推移しておりますが、人材紹介事業の業績悪化を補うには至らず、期初の業績予想を下方修正する結果となりました。

今期につきましては期初に想定していなかった求人環境の変化がありましたが、コロナ禍からの回復局面で急速に高まった採用需要の一服感は緩やかに回復することが見込まれるため、今後は各事業における売上高向上施策を強化することで、業績の改善に努めて参ります。

来期につきましては再度成長を加速させ、2021年11月に公表致しました2026年9月期までの中期経営計画『Beyond200』を達成することで、株主・投資家をはじめとする皆様の期待に応えて参ります。全社一丸となり業績向上を図って参りますので、引き続きご支援のほど何卒よろしくお願い致します。

(注) 上記の業績予想は、本資料の発表現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって異なる可能性があります。

以上